

## QuickTox™ メラミン テスト(イムノクロマト)

メラミンは有機窒素化合物のひとつで合成樹脂原料としてよく利用されますが、近年では牛乳やペットフード中のタンパク含有量を疑似的に増加させるために混入させた事例が海外であり、乳児やペットなどにも健康被害が多く報告されました。

QuickTox メラミンキットは、ミルク、ドライミルクやミルク製品、コーングルテン/大豆/綿実ミールなど飼料中におけるメラミンの混入を目視でスクリーニング検出するイムノクロマト（ラテラルフロー）テストです。試料抽出液に浸してバンドの目視判定までワンステップ5分で検査が終了。ELISAのような手間と時間をかけることなく0.5～2.5ppmの高感度で検出できます。

（製造：EnviroLogix Inc.米国）  
ver.AS-073-BG

商品名 QuickTox™ メラミン テスト(イムノクロマト) 50本 (3845EL073B)  
価格 税別 60,000円/キット  
保管条件 冷蔵4～8℃、湿気厳禁

製品内容 ラテラルフローストリップ 50本（耐湿容器）、抽出バッファー濃縮液 2種  
反応容器 50個、スポイト 50個

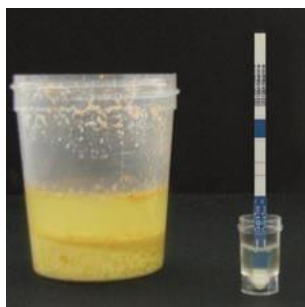
目的・用途 ミルク、ドライミルク、コーングルテンミール、大豆ミール、DDG、綿実ミール中におけるメラミンのスクリーニング検出

原理・性能 ラテラルフロー（イムノクロマト）法  
検出限界：ミルク = 0.5ppm、ドライミルク = 2.5ppm、飼料原料 = 2.5ppm

操作 試料を20メッシュ相当まで破碎・均一化  
飼料原料：25g + バッファー50mL その他乾燥試料：50g + バッファー100mL  
で混合、静置、上澄みを試料液とする（あるいは遠心分離して上清をとる）  
ミルク：冷却遠心分離で脱脂した後の上清を試料とする  
ドライミルク：試料25g + 水200mLで混合したものを試料とする

ラテラルフローストリップの操作（室温に戻してから必要なストリップをとる）  
反応容器に試料液0.5mLを入れる。  
カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。  
5分後直ちに、テストラインの呈色を目視で確認する。  
コントロールラインより薄い発色 = 陽性と判断。

他に必要な試薬器材 ミキサー・ミル1式、マイクロピペット  
フタ付きジャー、タイマー



よく挽いた試料にバッファー ストリップを浸して5分  
を添加して1分間振とう

